

三河守御の
 合とらるゝ
 石部十人
 あり
 正正
 にかりて
 事なり

をうらぐ。こゝに云はる。例は他をうらぐ。と。地元の
相違を述べ。うらぐ。と。秋心と。

おれは頂きふい、私は私
只この意を、持てゐる
事、はい。私はおれ、
送る人と人。

211
廻りてみていふ事
いふ所へなる
所へも
所へて
程
ある
さう
いふ
が
あう

ゆゑに、
久松から
サマは
常宗の
子で、
今松屋の
親父さん。

和光氏
す、
オ
子
子
は
よ
ろ
と

ふは
大
二
は
す
い
き
い
ん
ま
を
い
て
、
は
さ
ま
い

不_レ可_レし 云_レふ_レは_レし 也_レな_レき_レん_レ 一_レ考_レ

り五々の二方とても本多の計西におもひ

二の三級が差工の選
びとるまゝを
下としが
確紅とせし
るなりなり

11 鉛筆通りもあと少しであつた。僕も
僕も交々ニとも考へてはなんぞに我情
12

いて、
 4. 5. の内にやは交通者もよろこぶのでなく、
 6. 7. が、
 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836.

11. 農家の経済も悪
 いふところ市街化
 して、二、三階の
 家が並ぶところ

(31.9, -100 × 300)

青梅市役所

子子子子

陳恒、張、
福、
考元丁、
頂、
子、
不、

之
 糸のうも
 手とやり
 といと
 思ふ
 ところ
 しか
 け
 の
 念
 心
 下
 中
 う
 ま
 と
 切
 かる
 い

幸ふと出るやうな
 人なれば
 側枕をうつそ
 りと
 夢中
 水は東海
 軍兵
 三山
 三山

云山子

蚊の確約印と解らぬ

木の車
例り
と
路も
意
なふ
と
あつて
い子
西へ
く
たさ
ぬ
を
海に
し。

[illegible]

子
ハ

名可ハ西張録
一、
なんの角分

代の三姉は今年ふゆになんとか家をてい

三郎はハツリやるてなまきり

東口北條和
明之助

② 中ノ郷と足尾川との境界線

町役所 経理課

決定

③ 足尾川の中ノ郷と足尾川との境界線

土地の買入れをする工事を施行する

④ 中ノ郷の境界線を定める事

当初の境界線を定める事

その他

① 中ノ郷の境界線を定める事 (田中町と分) は四方角分をつけることを中ノ郷に決定する

② 足尾川の中ノ郷と足尾川との境界線

③ 中ノ郷の境界線を定める事 (田中町と分) は四方角分をつけることを中ノ郷に決定する

記録責任者

建設委員会結果報告

町長		役		助		課長		主任		席					
建設委員会結果報告														年月日	
昭和三十一年十一月三日														昭和三十一	
自午前十一時三十分														至午後三時三十分	
場所														福生町役場第三会議室	
委員		委員		委員		委員		委員		委員		委員		委員	
瀨古清義		村尾四郎		村尾裕吉		石川煥義		清水幸市		高水求		助役川窪金吉			

委員長、いま十分の議会の後、田舎の検討と云うことで、本委員会に附託されたのであるが、田村氏には今後、陰に陽に協力して頂かなくてはならぬ。交通上特別の危険がなければ、松下げもよい。これは、さういふが、瀬谷倉庫の敷地に、角切をつけて見送をつけ、又出来れば、安藤木工所の板塀を、さういふ角切位つけて見送を回らない。

委員、総委員会と云うは、交通上危険であるといふこと、線路より、併行道路を施設する方がよいとの意見であり、有償、無償のことについて、は、余りやれてゐた。

田村、松下げも、角切の踏切り等の処に、角切を付ければ、見送もつて、さう。

助役、松下げ価格については、無償といふ方が、今後同様なる件が多々あるので、運送が、やすい。

右により、角切として処分することに決ま、但し、見送のつくよう、角切の分は残すこと。

田村、この機会に、安藤木工所の角切も、つけるよう、要望する。

委員長、安藤氏と交渉して、何んとか処理する。

助役、角切については、有償で買取り、角切分は、当時の松下げ。

尚線路残りの角切分は見送のつくよう、三角形に残しておくこと、又、安藤木工所の、さういふ角切をつけるよう努力すること。

総会、安藤氏にも、わたりをつけること。

以上

三三三三三
午九

一 町役場第一會議室

町造齋造敷松卜の件

雨齋議
(田村幸三氏申請人)

五十七

田代は今日蔭に協力して頂きたい

文の上、特割の危険を掛けねば、振下らねても、よりを、よりか、限、治、庫、食、辛、化

乙未年 切をとり 又生葉あは 女海山木工の 松崎 とも かん

角切徑より

素田清重。川、徳川の手合会と一なる
現存の出来の道徳を徳川徳川に
不十分

綿
袴
ふ
と
道
鎧
と
ふ
か
す
は
の
こ
と

卷二
抄下
一
七
也
齊
道
分
の
踏
切
依
り
の
聲
角
切
上
了
此
の
只
通
可

7
L
L
L
L
L

切腹し、危殆にひたす。工部は、界の木、抗死を計画す。

いとと駄の助が源一といふ。又駄車も大改修があつた。

その跡の跡は源一の橋内であつた。

又源一の橋下より源一の橋上までつづつた方がよい。又源一の橋上の方は、

源一の橋上より大谷を越え、側道を通る。大谷は、源一の橋上より、

源一の橋上より大谷を越え、側道を通る。大谷は、源一の橋上より、

源一の橋上より大谷を越え、側道を通る。大谷は、源一の橋上より、

源一の橋上より大谷を越え、側道を通る。大谷は、源一の橋上より、

源一の橋上より大谷を越え、側道を通る。大谷は、源一の橋上より、

〇は、二五分経つ。

全員協議会

昭和廿二年 十月三十日午前九時

一、所道幹事松田中津の伸 (田中半郎申述)

建設委員長 田中氏の結果説明

委員

「危険性のことがよく分かった」と思われる

無償とするとそこに凝惑が生じたのではあ

見通がくと確信があるからよろしい

委員 見通はそれは東側の関係と接合して九分九厘は明けてもらえようと思ふ

社長が宿願として確約は得られぬ瀬田氏の裏側が見通つて程々松田はよい

後井 見通の議員の発言は賛成である。私の法についてはその根本方針を決めるべきで

ある。又現在の所道はどうか。経済的に進められようか。道路台帳はあるか否か。

所長 見通は認識されてやう行く。道路台帳はある。

宮土見通りを参考にする。申すところ、新しい部分として十三人関係者が居る。一、二、三、四、

位とある。又所道分としての分は、二、三、四、五、位ある。こういふ点は新道と分けて

又、要約をいふは、有償と云ふこと、
みよと無償の二方がありであるが、
今後、建学のことを考え、

記鄧青任者

委員會結果報告

軍月日

昭和十一年二月五日

至	五	時	五	分
至	五	時	五	分

場

所
福生所役場第三
會議室

瀨古禱卷

清水市

村尾四郎

森田誠堂

村尾種
上口

1

石川常太郎

18

石川信義

1

秋山詩

王任猪俣清玄

河役川逢金吉

1

課長高水永

1

會議事項

一、長沢第二区内道路改修につて

昔の砂利録でその后ふまゝうて現況は道路となつてゐるよう